

















カーファスナー 製品全体写真

CF-36 トリムクリップ	CF-22 ブラッシュクリップ	CF-43 ブラッシュクリップ	CF-44 ブラッシュクリップ	CF-23 アンカークリップ
 	 	 	 	 
CF-30 アンカークリップ	CF-31 スクリューグロメット	CF-37 ニフラッチ		
 	 	 		

バッテリーターミナルの選び方

ポールのサイズ

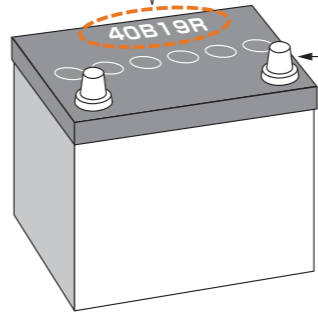
自動車用バッテリーの電極はプラス極(太)およびマイナス極(細)から構成され、ポールサイズは大ポール(Dタイプ)と小ポール(Bタイプ)の計2種類があります。

参考 国産車用バッテリー(鉛蓄電池)の形式記号から、適合するバッテリーターミナルを選定する方法について

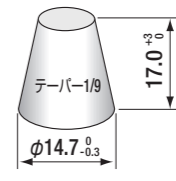
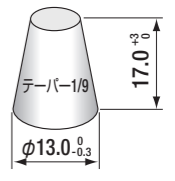
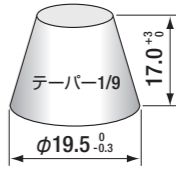
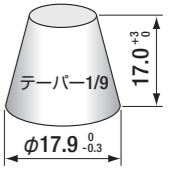
(例) **40B19R**

↓

適合バッテリーターミナルは
小ポール[S](Bタイプ端子)



国産車用バッテリー(鉛蓄電池)の形式記号内の「アルファベットA~H」から選定が可能です。(単位:mm)

国産車用バッテリー(鉛蓄電池)形式記号※	適合バッテリーターミナル	国産車用バッテリー(鉛蓄電池)ポールサイズ形状	
		(+)極	(-)極
B	小ポール[S] (Bタイプ端子)用	 テーパー1/9 17.0 ^{+0.0} φ14.7 ^{0.0} _{-0.3}	 テーパー1/9 17.0 ^{+0.0} φ13.0 ^{0.0} _{-0.3}
C	大ポール[L] (Dタイプ端子)用	 テーパー1/9 17.0 ^{+0.0} φ19.5 ^{0.0} _{-0.3}	 テーパー1/9 17.0 ^{+0.0} φ17.9 ^{0.0} _{-0.3}
D			
E			
F			
G			
H			

※Aについては二輪車用のため上記リストから除外

*ヒーロー電機製のバッテリーターミナルは、プラスを〇〇-1(1S)・マイナスを〇〇-2(2S)と表示し、DタイプをL(大)・BタイプをS(小)と製品表記をさせて頂いております。

配線との接続タイプ

ヒーロー電機製のバッテリーターミナルは、「圧着タイプ」、「変換タイプ」、「ボルトタイプ」、「蝶ナットタイプ」、「マルチ型タイプ」の計5種類があります。「圧着タイプ」のバッテリーターミナルは、バッテリーターミナルに直接電線を通し、圧着工具(簡易圧着工具D-19N/D-20N、およびEP-150A)を用いてターミナルと電線を圧着の上、バッテリー(鉛蓄電池)本体に装着いたします。

「変換タイプ」は車両側のバッテリーターミナルを一切取り替えることなく、ポールサイズの異なるバッテリー(鉛蓄電池)に交換が可能なくアダプター<の役割を果たします。「ボルトタイプ」、「蝶ナットタイプ」、「マルチ型タイプ」の各バッテリーターミナルは、丸形端子(DRシリーズ)を併用してバッテリー(鉛蓄電池)本体に装着いたします。


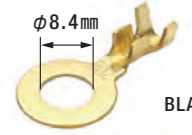

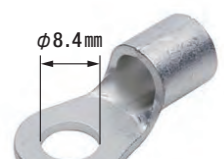





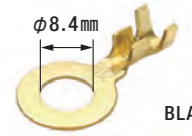



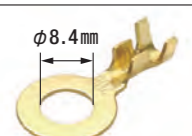
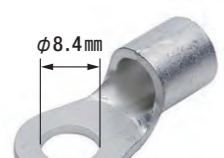
圧着タイプ			ボルトタイプ		
ボルトタイプ			蝶ナットタイプ		
変換タイプ			マルチ型タイプ		

⚠ 上記カーファスナー各製品全体写真は2018年11月現在のものとなります。また、各製品写真共に実寸大とは異なりますので、予めのご了承をお願いいたします。

ボルトタイプおよび蝶ナットタイプのバッテリーターミナルに適合する丸形端子

ボルトタイプおよび蝶ナットタイプのバッテリーターミナルに丸形端子を装着する場合には、バッテリーターミナルの縦ボルトサイズ、および丸形端子の適合ボルト穴径を確認の上、使用する電線サイズに合った丸形端子を装着してください。

ボルトタイプのバッテリーターミナル		適合する丸形端子	
材質	無酸素銅 (OFC)	オープンバレル丸形端子	
仕様	ボルトタイプ	品番	適用電線 (mm)
品番	DTPL-1S、DTPL-2S、DTPS-1S、DTPS-2S	BLA-108	0.50 ~ 1.25
		BLA-208	1.25 ~ 2.00
			
	8mm		φ8.4mm
	DTPL-1S		BLA-208
			
	8mm		φ8.4mm
	DTPL-1S		DR22-8
材質	黄銅 鋳物	オープンバレル丸形端子	
仕様	ボルトタイプ	品番	適用電線 (mm)
品番	DTBL300-1、DTBL300-2	BLA-210	1.25 ~ 2.00
			
	10mm		φ10.4mm
	DTBL300-1		BLA-210
			
	10mm		φ10.5mm
	DTBL300-1		DR22-10
材質	黄銅 鋳物	オープンバレル丸形端子	
仕様	ボルトタイプ	品番	適用電線 (mm)
品番	DBA-1、DBA-2	BLA-210	1.25 ~ 2.00
			
	10mm		φ10.4mm
	DBA-1		BLA-210
			
	10mm		φ10.5mm
	DBA-1		DR22-10

ボルトタイプおよび蝶ナットタイプのバッテリーターミナル		適合する丸形端子	
材質	黄銅 鋳物	オープンバレル丸形端子	
仕様	ボルトタイプ	品番	適用電線 (mm)
品番	DTBL308-1、DTBL308-2	BLA-108	0.50 ~ 1.25
		BLA-208	1.25 ~ 2.00
			
	8mm		φ8.4mm
	DTBL308-1		BLA-208
			
	8mm		φ8.4mm
	DTBL308-1		DR22-8
材質	黄銅 鋳物	オープンバレル丸形端子	
仕様	蝶ナットタイプ	品番	適用電線 (mm)
品番	DBL-1、DBL-2	BLA-210	1.25 ~ 2.00
			
	10mm		φ10.4mm
	DBL-1		BLA-210
			
	10mm		φ10.5mm
	DBL-1		DR22-10
材質	黄銅 鋳物	オープンバレル丸形端子	
仕様	蝶ナットタイプ	品番	適用電線 (mm)
品番	DBL8-1、DBL8-2、DBS-1、DBS-2	BLA-108	0.50 ~ 1.25
		BLA-208	1.25 ~ 2.00
			
	8mm		φ8.4mm
	DBS-1		BLA-208
			
	8mm		φ8.4mm
	DBS-1		DR22-8
材質	黄銅 鋳物	オープンバレル丸形端子	
仕様	ボルトタイプ (マルチ型)	品番	適用電線 (mm)
品番	DML-1、DML-2、DMS-1、DMS-2	BLA-108	0.50 ~ 1.25
		BLA-208	1.25 ~ 2.00
			
	8mm		φ8.4mm
	DML-1		BLA-208
			
	8mm		φ8.4mm
	DML-1		DR22-8

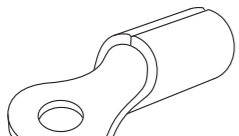
参考 丸形端子(クローズドバレル)の電線抱合(ほうごう)範囲の捉え方について

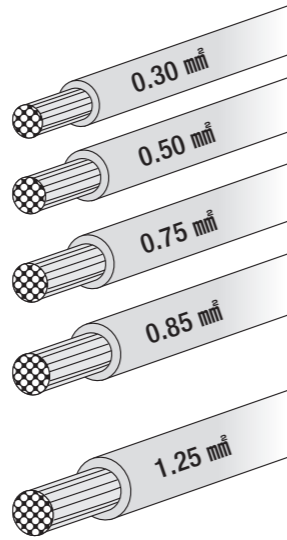
使用する電線(撚線)の抱合範囲に合致する丸形端子を選択します。

※丸形端子(クローズドバレル)には、それぞれ使用可能な電線サイズの抱合範囲がJIS規格で制定されております。

DR1.25-6

電線抱合範囲(撚線)※
0.25 mm² ~ 1.65 mm²

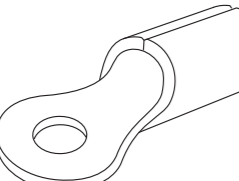


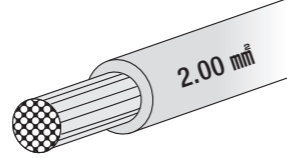


電線(撚線)1.25mm²については両方の丸形端子も使用できます。

DR2-6

電線抱合範囲(撚線)※
1.04 mm² ~ 2.63 mm²



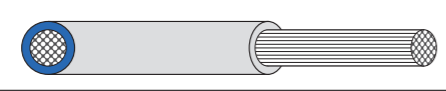
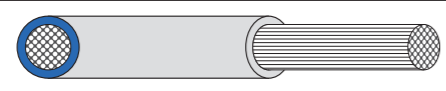





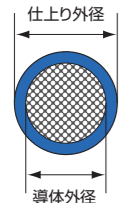
! 電線抱合範囲以下の電線に使用した場合には「電線抜け」、ならびに電線抱合範囲以上の電線を使用した場合には「電線切れ」の原因になります。
※電線サイズの合計が抱合範囲内であれば複数の電線を同時に圧着することも可能です。(但し、同種・同サイズの電線に限ります。)

電線の太さ

一般的にバッテリーケーブルに使用される自動車低圧電線(AV)の太さは14mm²から60mm²の幅があり、それぞれに適したターミナルや丸形端子を選びます。

A:自動車用低圧電線 V:ビニル

自動車用低圧電線(AV)寸法表					
原寸大図	呼びsq(スクエア)	導体外径※1 φ(mm)	仕上り外径※1 φ(mm)	許容電流※2 (A)	
	15(14)	4.8	7.0	94	
	20(22)	6.0	8.2	121	
	30	8.0	10.8	168	
	40(38)	8.6	11.4	188	
	60	10.4	13.6	244	



※1.電線メーカー、線種によって外径は多少異なります。 ※2.導体最高許容温度80℃、周囲温度40度(JASO D 609による)
※3.車種、仕様、用途によりましては上記記載の限りではございません。

バッテリーターミナルの交換方法

手順1 バッテリーターミナルを含め必要となる部材を用意する



(1) 車両側バッテリーケーブルの太さを確認し、バッテリーターミナルや丸形端子などを用意します。

施工例写真 ■車種名:ダイハツ ミラジーノ(型式:L700)
■交換ターミナル:DTPS-2S

! バッテリーを取扱う時は細心の注意が必要です。また、メモリー機能のある電子機器はメモリーが消去、または警告が出る場合がございますので、メモリー保護のバックアップをおすすめいたします。

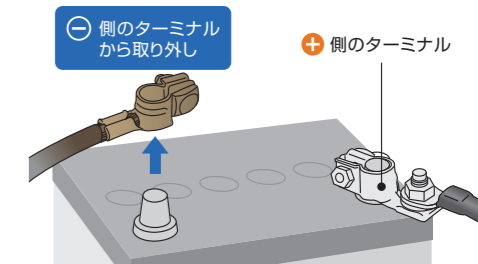
手順2 バッテリーターミナルを外す



- (1) **-** 側のターミナルを取り外します。
- (2) **+** 側のターミナルを取り外します。

※安全のため、どちらか一方のみ交換の場合でも、プラスマイナス両方を外します。

【交換手順の注意】
取り外しの際は必ず極性の順番を守りましょう。
- → +

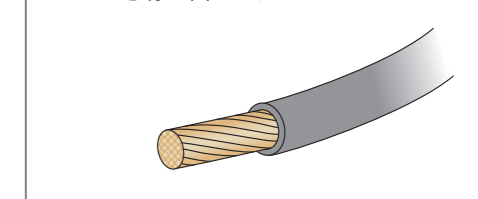
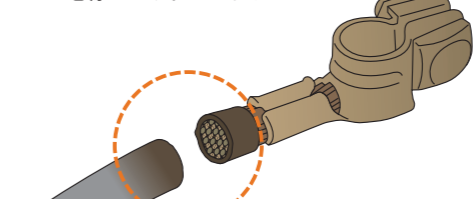


手順3 電線をカットする



- (1) 古い(傷んだ)ターミナルの圧着部付近で電線をカットします。

- (2) 新たに圧着する部分の被覆を剥いて芯線を出します。



手順4 端子の圧着と準備



- (1) あらかじめ熱収縮チューブやターミナルカバーを車両側バッテリーケーブルに通しておきます。

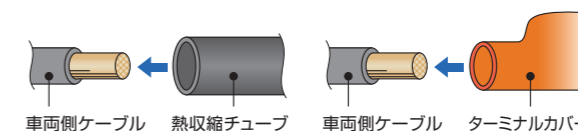
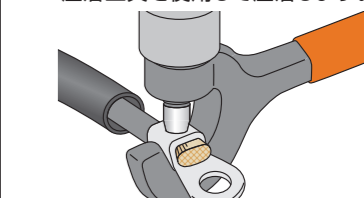
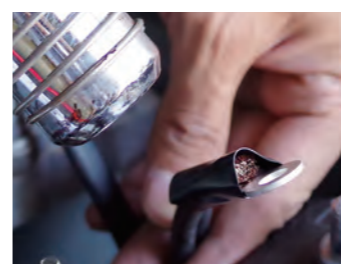


写真 ■圧着工具:D-19N

- (2) 芯線を出した電線に丸形端子を圧着工具を使用して圧着します。

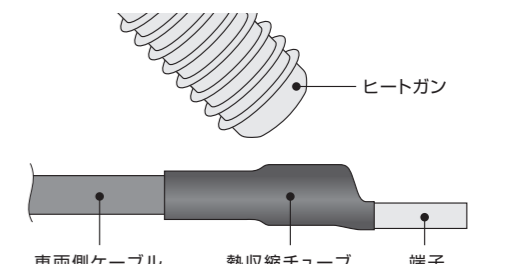


手順5 熱収縮チューブで圧着部を保護(熱収縮チューブを使用する場合のみ)



- (1) 圧着が完了したらヒートガンを使用して熱収縮チューブを収縮させ、圧着部を保護します。

【注意】
ターミナルカバーのみの場合は手順5の作業は不要です。



手順6 バッテリーターミナルを元に戻す



- (1) **+** 側ターミナルを取り付けます。
- (2) **-** 側ターミナルを取り付けます。
- (3) ボールに対して締付が確実に出来ているかを確認します。
- (4) ターミナルカバーが付いている場合はカバーを元通りに取り付けてください。

【交換手順の注意】
取り付けの際は必ず極性の順番を守りましょう。
+ → -

